

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-247186

(43)Date of publication of application : 12.09.2000

(51)Int.Cl.

B60R 7/06

(21)Application number : 11-052617

(71)Applicant : MAZDA MOTOR CORP

(22)Date of filing : 01.03.1999

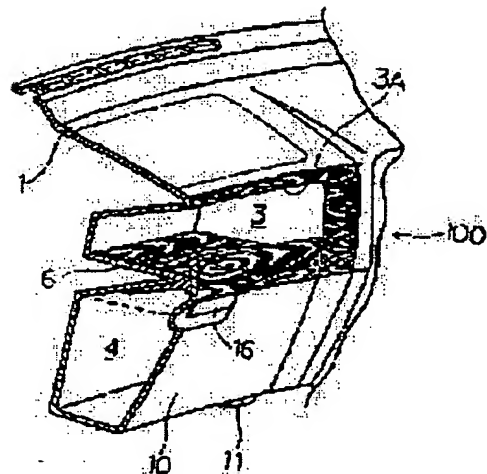
(72)Inventor : KIKUCHI REIJI
MATSUO KENJI

(54) GLOVE COMPARTMENT STRUCTURE FOR VEHICLE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent the jumping out and dropping off of the content in an upper housing chamber or the sudden opening of a lid by comprising the upper chamber having an opening part and a bottom plate tray, and a lower housing chamber surrounded by the rotating lid and having a protruding edge which is protruded upward over the edge of the bottom plate tray of the upper housing chamber when the lid is closed.

SOLUTION: This glove compartment 100 is formed of a vertical two-stage housing chamber provided on the front passenger's seat side of an instrument panel 1. An upper housing chamber 3 has an opening part 3A opened toward the front passenger's seat. The upper and lower housing chambers 3 and 4 are partitioned by the bottom plate tray of the upper housing chamber 3. On the other hand, the lower housing chamber 4 has a lid 10 closeable and openable through a plurality of hinges 11 having a pivotal shaft substantially laid along the lateral direction on the instrument panel lower edge part. The lid 10 has a bank-like protruding edge, so that no unexpected door opening force is generated even if the lid 10 is touched without the intension of opening. Further, it also functions as a protector so as to prevent the content in the upper housing chamber 3 from being released and to fall within a cabin.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-247186

(P2000-247186A)

(43)公開日 平成12年9月12日(2000.9.12)

(51)Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テームト(参考)

B 6 0 R 7/06

B 6 0 R 7/06

G 3 D 0 2 2

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平11-52617

(22)出願日 平成11年3月1日(1999.3.1)

(71)出願人 000003137

マツダ株式会社

広島県安芸郡府中町新地3番1号

(72)発明者 菊池 礼治

広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内

(72)発明者 松尾 健司

広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内

(74)代理人 100082810

弁理士 迎田 昌夫

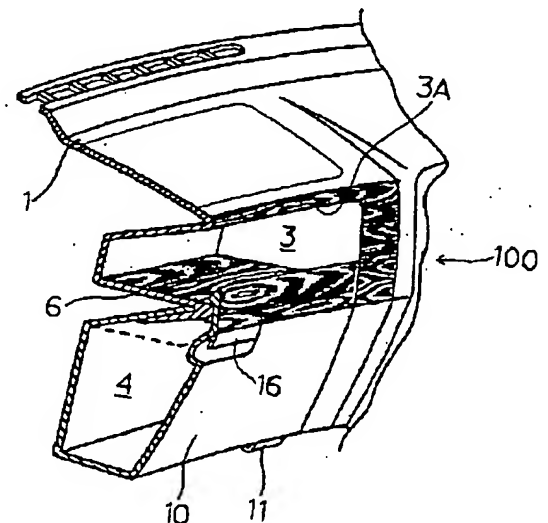
Fターム(参考) 3D022 CC02 CC11 CD04 CD06 CD13
CD14

(54)【発明の名称】 車両の小物収納室構造

(57)【要約】

【課題】 開口型上部収納室を備える上下2段式の車両の小物収納室構造において、従来は下部収納室リッド突縁部に対する手指先の引掛りにより、該リッドの不用意開扉の危険があり、一方で突縁部を余り切り詰めると車両の動揺により上部収納室より収納物が飛び出す危険があった。

【解決手段】 下部収納室リッドの突縁部断面を滑らかに内方へ下傾するやや低目のバンク状にした。更に上部収納室底板トレイ表面および/もしくはリッドの突縁部付近前面に木目化粧板を固着してインテリアデザインを向上した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】助手席側インストルメントパネルに設けられる2段式の車両の小物収納室構造において、上部収納室が、助手席に向いて開口する開口部と、インストルメントパネルに固着された底板トレイとを備える上部収納室であり、下部収納室が前記底板トレイと、更に下部のインストルメントパネル下端部付近で車両のほぼ巾方向の枢着軸に沿って回転する、リッドによって囲まれる下部収納室であり、上記リッドの上端縁には、リッド閉時に上部収納室の底板トレイの開口縁より上方に突出する突縁部が形成されている事を特徴とする車両の小物収納室構造。

【請求項2】上方突縁部付きリッドの鉛直断面図上、該リッドの突縁部の断面形状が、車両前方に対し滑らかに下方傾斜したバンク状であり、乗員の手指先接触によって不用意にリッドが開かないように配慮されている請求項1に記載の車両の小物収納室構造。

【請求項3】上部収納室開口部周辺のインストルメントパネル前面および／もしくは底板トレイ表面および／もしくは下部収納室の上端縁部突縁部付きリッドの突縁部付近前面に同一もしくは類似の意匠を施した請求項1ないし2に記載の車両の小物収納室構造。

【請求項4】底板トレイ端縁部に設けられたストライカと、突縁部付きリッド上部に設けられた外面ノブと連動するロックとが離脱／係合する事により、該リッドの開閉が行われる請求項1ないし3に記載の車両の小物収納室構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は車両の小物収納室構造に関し、より詳しくは、上部収納室の収納物が車両の動揺等によつて室内に容易に脱落する事が無く、かつ乗員の手指先の接触によって下部収納室のリッドが不用意に開かず、また意匠面でも美観に優れた車両の小物収納室構造に関する。

【0002】

【従来技術と課題】従来、乗用車、トラック等車両の助手席側インストルメントパネルに設けられる小物収納室については、クラッシュパッドやSRSエアバッグのためのスペースとの兼ね合いもあり、設計、配置に苦勞を要する部分であるため、各種の工夫、発明が提案されている。

【0003】例えばインストルメントパネル上面に水平可能なクラッシュパッドとトレイの組み合わせを設けた2段式のグローブボックス（実開平3-57145）や、インストルメントパネルに上面と助手席側の2方向の開口部を設けた、一部がアシストグリップ兼ねるグローブボックス（実開平2-141545）があり、また上下2段式であつて、看者が両眼を結ぶ線を鉛直になるように顔を傾けて見ると丁度観音開きに見える、枢着部を強

化した1対の上下リッドを備える本願出願人の先願（特開平6-87382）等が提案されている。

【0004】しかしいずれの先行技術にも夫々次のような問題点があつた。すなわち、実開平3-57145記載の考案では、トレイがインパネ上面にあるため、収納品が外部から見えてしまう欠点があり、また収納品が直射日光に晒されるため、収納品の温度が上昇したり、退色ないし変質したりするという問題点があつた。これは収納物が例えば紙箱入りの写真フィルムであつたり、使い捨てカメラである場合等に著しい。

【0005】また実開平2-141545記載の考案では、サイズの大小に亘る収納品を分別収納できないという問題点があり、加えて外部から完全に遮断された収納空間がないという問題点があつた。

【0006】更に特開平6-87382記載の発明の場合、上下2つの収納室を使い分ける事は出来るものの、両方の収納室にリッドがあるため、走行中に収納品を出し入れする場合、目的の収納品が探し難く、出し入れもやや困難であるという問題点があつた。

【0007】そこで本発明者等はこれらの課題を一挙に解決せんと鋭意検討した結果、本発明に到達した。

【0008】

【発明の目的】本発明の目的は、リッドなし上部収納室とリッド付き下部収納室でなる2段式のインストルメントパネルに配する小物収納室において、車両の動揺があつても上部収納室内の収納物の飛出し、脱落を防止すると共に、乗員の手指先接触による下部収納室リッドの不用意開扉を防止する事である。

【0009】本発明の他の目的は、インストルメント全体の意匠自由度の多様化と質的向上を図る事にある。

【0010】

【発明の構成】本発明により、助手席側インストルメントパネルに設けられる2段式の車両の小物収納室構造において、上部収納室が、助手席に向いて開口する開口部と、インストルメントパネルに固着された底板トレイとを備える上部収納室であり、下部収納室が前記底板トレイと、更に下部のインストルメントパネル下端部付近で車両のほぼ巾方向の枢着軸に沿って回転する、リッドによって囲まれる下部収納室であり、上記リッドの上端縁には、リッド閉時に上部収納室の底板トレイの開口縁より上方に突出する突縁部が形成されている事を特徴とする車両の小物収納室構造（請求項1）、上方突縁部付きリッドの鉛直断面図上、該リッドの突縁部の断面形状が、車両前方に対し滑らかに下方傾斜したバンク状であり、乗員の手指先接触によって不用意にリッドが開かないように配慮されている請求項1に記載の車両の小物収納室構造（請求項2）、上部収納室開口部周辺のインストルメントパネル前面および／もしくは底板トレイ表面および／もしくは下部収納室の上端縁部突縁部付きリッドの突縁部付近前面に同一もしくは類似の意匠を施した

請求項1ないし2に記載の車両の小物収納室構造（請求項3）および底板トレイ端縁部に設けられたストライカと、突縁部付きリッド上部に設けられた外面ノブと連動するロックとが離脱／係合する事により、該リッドの開閉が行われる、請求項1ないし3に記載の車両の小物収納室構造（請求項4）が提供される。

【0011】以下に実施例を用いて本発明を詳細に説明する。

【0012】

【実施例】図1はリッド閉時の実施例斜視図、図2は図1のA-A断面斜視図、図3は突縁部付きリッドの要部断面図、図4はリッド開時の実施例斜視図、図5は従来例の要部断面図である。

【0013】図1～4において、1はインストルメントパネル、3は上部収納室、3Aは開口部、4は下部収納室、6は底板トレイ、6Bは底板トレイ表面、10は突縁部付きリッド、10Aは突縁部、10Bは突縁部付近前面、11はヒンジ、15は手指先、16は外面ノブ、19はストライカ、20はロック、100は実施例である。

【0014】図1～4において、実施例100はインストルメントパネル1の助手席側に設けられた上下2段の収納室を備える小物収納室である。上部収納室3は助手席に向かって開口する開口部3Aを持つが、必要に応じて下端部に隙間を設けた上ヒンジのドアなどを付与する事は勿論可能である。

【0015】しかし、目鏡、手袋、手帳ないし筆記具、小型カメラ、小型録音再生機、電卓等の小物は、常時ドライバ、コドライバなどの前席乗員の眼に触れ、かつ手の届く場所に収納される事が望ましいから、寧ろ上部収納室3は本実施例のように開口部3Aを持つ方が好ましい。

【0016】上下の収納室は上部上部収納室3の底板トレイ6で仕切られている。底板トレイは本実施例ではインストルメントパネルに嵌着および／もしくは接着され、固着されているが、底板トレイの車両進行方向前縁に車巾方向に沿った枢着軸を備えるヒンジを設けて、下方に約180°回動格納可能とする事も出来る。下部収納室4はインストルメントパネル下端縁部の枢着軸がほぼ巾方向に沿った複数ヒンジを介して図1ないし図4のように閉→開出来るリッド10を備えている。

【0017】本発明において重要なのはリッド10が図2、図3に示すように突縁部10Aを付与されている事である。なおかつ突縁部10Aの断面が例えば図3の如く、内面が上端縁部から滑らかに傾斜したバンク状断面になっており、また突縁部（バンク）高さ h_2 が従来例の高さ h_1 よりもやや小さく、乗員の手指先15が開放の意思なく接触しても滑りを生じて不用意にリッド10が開放される程大きな開扉力が生じないようにしている。

【0018】加えてこのバンク状の突縁部10Aは上部収納室3内の収納物が車両の動揺に遭っても、車室内に放出落下しないようにする障害物ないしプロテクタの役割をするメリットがある。

【0019】更に常時乗員の目に触れる上部収納室の底板トレイと共にリッド10の突縁部付近前面は、インストルメントパネル前面の一部と同じくガーニッシュ（化粧面）として、例えばウォルナット木目化粧板を貼り付けて内装意匠の向上に資する事が出来る利益がある。この化粧は底板トレイ表面6A、突縁部付近前面10Bの両方であっても、いずれか一方でもよい。

【0020】リッド10の開時係止は、本実施例では底板トレイ6前縁中央部のストライカ19と、リッド10上部中央部内面に固着されたロックとの係合によって行う事が出来る。リッド10を開く場合は前面ノブ16を手指先で引く事によって容易に係合を解く事が出来る。

【0021】なお、前述のように底板トレイ6を格納式にした場合にはリッド10の左右両外壁とインストルメントパネル凹部両内壁との間にストライカとロックもしくはこれに替わる係止部を設け、中央部の回動ツマミ（ノブ）でこれらを係止・解放出来るようにすればよい。

【0022】

【発明の効果】本発明を実施する事により、前記目的のすべてが達成される。

【0023】すなわち、リッドなし上部収納室とリッド付き下部収納室でなる2段式のインストルメントパネルに配する小物収納室において、車両の動揺があつても上部収納室内の収納物の飛出し、脱落を防止すると共に、乗員の手指先接触による下部収納室リッドの不用意開扉を防止する事が出来、またインストルメント全体の意匠自由度の多様化と質的向上を図る事が出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】リッド閉時の実施例斜視図。

【図2】図1のA-A断面斜視図。

【図3】突縁部付きリッドの要部断面図。

【図4】リッド開時の実施例斜視図。

【図5】従来例の要部断面図。

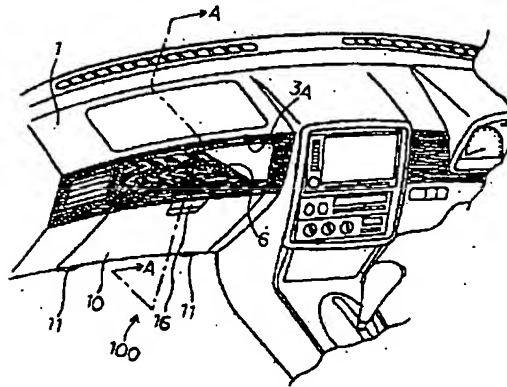
【符号の説明】

1	インストルメントパネル
3	上部収納室
3A	開口部
4	下部収納室
6	底板トレイ
6B	底板トレイ表面
10	突縁部付きリッド
10A	突縁部
10B	突縁部付近前面
11	ヒンジ
15	手指先

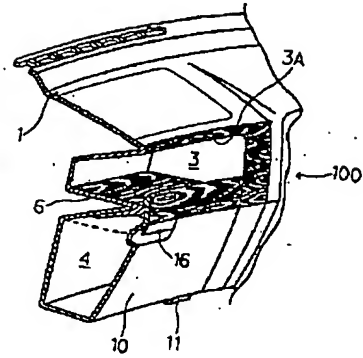
16 外面ノブ
19 ストライカ

20 ロック
100 実施例

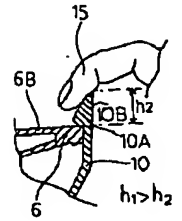
【図1】



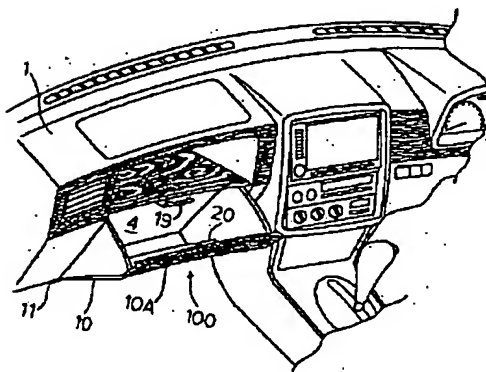
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

